

女性消防隊員の活動を 多くの人に知ってほしい

八代市消防団女性消防隊員

野田 貴美子 さん (梅檀町)



「競技が始まってしまえば無心。やってやるという気持ちだけでした。」

そう語るのは、女性消防隊員の野田貴美子さん。8月23日に球磨川河川緑地で開かれた第4回熊本県女性消防操法大会で八代市代表として出場し、見事初優勝を果たしたチームの1人だ。全国大会に出場する切符を手にした。

女性消防操法大会は、隊員の消防技術向上と士気の高揚を図ることを目的に、2年に1度開催されている。補助員を含め6人で出場し、ポンプ操作による放水で火点を倒すまでのタイムとその動作の美しさを競う。

野田さんは夫と子ども2人、夫の両親・祖父母・弟の9人暮らし。仕事と家庭の両立をしながら女性消防隊の活動に力を入れている。

入隊したのは11年前だ。消防士の父から勧められたことがきっかけだった。主に、出初め式などへの参加や住宅火災警報器の案内を行うなど防災啓発を中心に活動を行っている。「たくさんの人との関わりと地域のためになれることが一番の魅力です」と語る。

ポンプ操法大会の出場もその活動の1つだ。幼い頃、父親が男性消防団のポンプ操法を指導するのに連れて行かれていたといい、「まさか自分がやるとは思っていなかったです」と笑う。今年の県大会開催地が本市と決まったときは「絶対優勝しかない」と心に誓った。2月末から週3回、夜2時間の練習を始めた。

順調に技を磨き、本番に向けてのラ

ストスパートに入ろうとしたその矢先、2人のけが人が出るという思わぬアクシデントに見舞われた。急きょ、タイムを握る重要なポジションに替わることになった。

新体制のもと、短期間で調整しなければならない。交代メンバーとの技術の差をどう埋めたらいいか、自身の課題をどうクリアしたらいいか悩む日々。涙して帰った日もあったという。

そんなとき、小学3年生の娘からの一言が心に響いた。「大事なものは『できる』というイメージとチームワークだと思うよ。絶対全国大会に行くって決めたんでしょ」。次の日から優勝することだけを考えて、猛特訓に励んだ。

悲願の県大会優勝をチームで勝ち取った野田さんは金メダルを手にし、「消防関係の皆さんの協力、職場や家族の理解、チームの仲間みんなで勝ち取ったメダルです」と語る。早速9月1日から、10月15日に横浜市で開催される全国大会に向け、さらなる猛特訓が始まった。もちろん目指すは優勝だ。

「県大会優勝と全国大会出場をきっかけに、女性消防隊への理解が深まるとうれしい」という野田さん。今後は隊員を増やし、後継者育成にも力を入れていきたいという。全国には80歳を超える隊員もいるといい、「その記録を更新するくらい、長く女性消防隊員として活動を続けていきたい」と力を込める。

野田さんの夢はこれからも広がり続ける。



2015.OCTOBER No.130

- 3 市立博物館 秋季特別展覧会
交流する弥生人
- 4 詐欺被害を未然に防ぐ
- 6 第28回 やつしろ全国花火競技大会
- 8 五家荘の日
- 9 八代型小中一貫・連携教育
- 10 生活習慣病予防で延ばそう健康寿命
- 11 八代市ふるさと納税
- 12 路線バス運行内容の変更
- 14 暮らしの情報
- 16 市民カレンダー
- 18 暮らしの情報
- 27 広告
- 28 まちのわだい
熊本県女性消防操法大会
八代港 基隆港 友好交流確認書調印式
証明書交付総合窓口開設式
第30回 ふるさと祭り 植柳盆踊り
他10件
- 31 伝言板
- 32 秋のイベント情報

広報やつしろは、市ホームページでもご覧いただけます。
トップページ → 総合案内 → 広報やつしろ